

松田尚樹教授が日本アイソトープ協会「放射線安全取扱部会功労賞」を受賞

2016年11月10日、原爆後障害医療研究所（放射線生物・防護学）の松田尚樹教授は、公益社団法人日本アイソトープ協会より、当部会副部会長、専門委員長、九州支部長、年次大会実行委員長等を歴任し、現勤務先では20年に亘り放射線管理に尽力したことに対し、放射線安全取扱部会功労賞を受賞されました。

Professor Naoki Matsuda received the Distinguished Service Award from the Japan Radioisotope Association for holding various important posts of the association and for continuous effort to manage radiation safety.

